

山行報告

■京都トレイル 出町柳駅～比叡山～大原戸寺

- 日 程：3月20日(木)～21日(金)
- 参加者：L 高島 SL 島谷 團野 徳本 森本
- 行動記録：ペンション北白川 5:50 発～瓜生山(6:55 着)7:00 発～石鳥居(8:07 着)8:15 発～ケーブル比叡駅(10:15 着)10:30 発～大比叡(10:50 着)～釈迦堂(11:53 着)12:00 発～横高山(13:17 着)13:30 発～水井山(13:50 着)14:00 発～仰木峠(14:42 着)～大原戸寺バス停(15:43 着)

◆京都トレイル 出町柳駅～大原戸寺

徳本

京都トレイルの前日20日、13時に京都駅にメンバー5人集合しました。バスに乗って修学院離宮に行き参観しました。修学院離宮は、皇室用の財産として宮内庁が管理しているそうです。10世紀後半に修学院という寺が、建立されたのがはじまりで総面積54万5千㎡もあってとても広い離宮でした。大きな池があり周りはいさぎよい庭園で感動しました。高台からは、京都の町が一望でき、すばらしい景色でした。

次の日21日、6時にホテルを出発し、登山道の入口に着きました。京都一周トレイルと書かれた標識を見つけました。この標識には、京都一周トレイルの他に57・58の地点で女性が一人熊に襲われたので注意するようにと書かれていました。京都に熊。驚きです。メンバーで熊鈴や笛を用意して出発しました。

林の中を歩いて行くと時々、京都一周トレイルと方向が書かれた標識があり、京都一周トレイルの順番を表す番号も書かれていました。どんどん歩くと途中で暗くて湿気が多く動物が掘り起こした跡があり、獣の臭いもして「熊が出そうなところだな。」と思って歩きました。明るいところに出たとき、京都トレイル60と書かれた標識を見つけました。登山口で57・58の地点で熊が出たという掲示物を思い出し、「今通ってきた道だ。熊が、出なくてよかった。」と思いました。



登山道を登ったり下ったりしながら歩きました。いつもの登山道と違ってなだらかな登山道で歩きやすかったです。瓜生山・石鳥居の2か所で少し休憩し、石鳥居からケーブル比叡の駅まで約4時間歩きました。時々、京都一周トレイルの標識がありました。なかなか標識が、出てこないところがあって、「この道でいいのかな。」と皆で相談しながら歩きました。途中、急登な道を登っているとリーダーさんが、「京都トレイルは、こんな歩きにくい道ではない。」と言って引き返しました。

タイミングよく、後方から二人の登山者がいたので正しいルートを教えてもらいました。

私は、「トレイルの道は、険しい登山道ではなく、歩きやすい道にしてあるのだ。」とそこで思いました。

この後、よく整備された木道を歩いたり、里山のような道を歩いたりしました。歩きやすかったです。10時頃ケーブル比叡駅に着きました。雪が積もっているのでロープウェイに乗り、比叡山頂駅から出発しました。周りは雪景色で、道路も雪が積もって凍っているところもあり、滑らないように気を付けて歩きました。大比叡めざして雪の積もった道を歩いて行きました。知らないうちに大比叡を通り過ぎていたので釈迦堂めざして下って行きました。登山道は、雪が積もっているところや溶けてジュクジュクになっているところがあり、歩きにくかったです。少し歩くと釈迦堂に着きました。ここで五分の三過ぎたとのこと。残りは、横高山と水井山を越えて仰木峠から大原戸寺バス停までです。

横高山は767m・水井山は793mです。一つの山を登るのに30分程度かかりました。急登でした。この二つの山を登るところでいつもの山登りをしている感じでした。仰木峠を越えてどんどん下って行き、やっと大原戸寺バス停着きました。

長距離でしたが、ほとんど歩きやすい道でした。登山とはまた違った山の楽しみ方があるのだと思いました。リーダーさんはじめ参加メンバーの皆様、ありがとうございました。



■秋葉山(449m)

●日 程：3月22日(土)

●参加者：A班 L尾内 SL上田 泉 一瀬 臼井 岡田(淳) 尾越 黒本 坂本
B班 L島谷 SL春本 佐野 笹木 高井 松本 矢根 山本(清)

●行動記録：宍粟市役所9:00 発一炭焼広場駐車場(9:25 着)9:40 発～北登山口(9:45 着)～東屋(10:00 着)10:05 発～ビオトープ(10:10 着)10:13 発～分岐(10:40 着)10:45 発～秋葉山山頂(昼食)(10:50 着)11:30 発～分岐(11:35 着)～コウヤミズキ群生地(11:50 着)～鉄穴流し(12:00 着)～南登山口(12:24 着)炭焼広場駐車場(12:40 着)

◆秋葉山へ(絶滅危惧種のコウヤミズキの花を見に行く・・・)

黒本

今回は、宍粟50名山別選秋葉山(神宮司山)です。気象担当者から「穏やかな晴れの日が続き、週末は春本番のポカポカ陽気になります。」のメールの通り、天気が良く(黄砂・花粉が多く霞んでいますが)、集合場所に行く道中で今年初めてのツバメを見ました。

宍粟市役所から車4台に分かれて登山口近くのふれあいの森炭焼き広場へ移動、ストレッチの後、9時30分に出発しました。車道を進み、リーダーが止まり、見上げている先に秋葉山の矢印が付いた案内板があり、2～3m(?)の崖を登るような登山口で、皆、びっくり。

尾根に出てもしばらく急登でしたが登山道はわかり





やすく、角材で組まれた東屋が途中にあり、小休憩と衣服調整をしました。緩やかな登りの尾根歩きとなり、少し開けた所にビオトープがありました。沼地のようで、生き物はいませんでした。緩い尾根歩きが続き分岐で小休憩、ここで地元の方と思われるご夫婦と犬一匹に出会いましたが、お会いしたのはこの一組だけでした。明るい樹林帯歩きで、暑くなく寒くなく気持ちよく歩けます。

10時50分、秋葉山登頂。三角点横に案内板が、「日照山神宮司は、蔵王権現を本尊に祀っています。」とあり、赤い鳥居とお社が鎮座していました。秋葉山も修験道の修行場だったかもしれません。早めの昼食を摂り、11時30分下山開始。分岐まで戻り南の谷筋のルートで下りました。谷筋にコウヤミズキの群生地があるようですが小さな蕾ばかりです。沢を下るにつれ蕾が膨らみ、今にも咲きそうな黄色く下向きに花卉を少し広げた小さな花を少し見ることができました。木がたくさんあるので満開時には、コウヤミズキの黄色い花の並木が見られそうです。途中、「鉄穴流し」の遺構も残っており、どのようにして砂鉄を集めていたのか？当時を想像しながら話に花が咲きました。谷川を進むと県道に突き当たり南登山口にでました。12時40分、駐車場に到着。3時間ちょっとの山行でした。

宍粟の山は、急登な山が多く修験のつもりで参加しています。今回は、最初いきなりの急登でどうなるかと不安になりましたが、登山道は歩きやすく、短時間の山行だったので楽に歩きました。リーダー・山行で一緒の皆様、お世話になりました。

コウヤミズキの花の並木をいつか見たいですね。



※たたら製鉄遺構

鉄穴流し(かんなながし)の砂鉄洗い水路跡

■蛇山(山南町・岩尾城址)358m

●日 程：3月23日(日)

●参 加 者：A班 L春本 SL安田 臼井 江崎 松田

B班 L藤原(千) SL瀧原 内海 小野 田羅間 平石 森下

●行動記録：駐車場(10:00 着)10:15 発～親縁寺(10:25 着)だるま岩(10:36 着)10:40 発～南曲輪(11:15 着)11:25 発～下知殿丸曲輪(11:27 着)天守台山頂(11:40 着)12:10 発～和田小学校(12:55 着)登山道駐車場(13:00 着)薬草薬樹公園(13:10 着)

◆「蛇山(358m)岩尾城跡に登る」

松田

今年の干支「蛇」に、ちなんだ名前の山というので、是非登ってみたいと参加した。

集合は現地の駐車場で、10時集合。

私は、初めての所なので、迷ってはいけないと早めに家を出たが案外スムーズに行けて、1時間前に着いた。とても暖かい日でした。

ストレッチをし、衣服調節をして、2班に分かれて登る。4登山ルートがあり、その中のだるま岩《郵便局》登山ルートに登る。

郵便局東側からだるま岩を経て岩尾城へ向かうルート。親縁寺と合流し、だるま岩の上の道を登って南曲輪・下知殿丸曲輪を経て天守台へ向かう。

歩きはじめは、整備された落ち葉のクッションの道を登って快適でしたが、途中から、岩や土砂のある急登が続く。ちょっときつかった。

さすが、城跡！簡単には登らせてくれないらしい。

何ヶ所かの休憩所という看板のある平らな場所があった。その中の2カ所は南曲輪跡・下知殿丸曲輪である。曲輪とは、石垣や堀などで囲われた一定の区画で居住空間や駐屯地として使われる。簡単に落城させないように作られている。江戸時代からは「丸」が使われているということです。その休憩所から見上げると、石垣が見えた。

「竹田城みたい」という声が聞かれた。竹田城に行っていないのでわからないけれども、とてもいい感じでした。早く登っていきたいと思った。

頑張る力をもらって、急な所も進んでいくと「井戸」があった。標高400mに近い山上にある珍しい井戸で、深さ7mともいわれ、今も豊富な水量をたもっていたのでビックリした。

そうしているうちに、天守台に到着！

石垣が素晴らしい。土塁も広範囲で素晴らしい。

岩尾城は和田氏が築いた土塁の古城と佐野氏が築いた新城と城郭様式が混在した城址は日本城郭史上貴重な遺構だそうだ。

城跡は立派な石垣が残っていて、ここにどんな城が立っていたのかなと思いを寄せる時間でした。ただ、何故蛇山なのか分からなかったけど、蛇の形をしたしめ飾り(?)があって、地域の方に愛されている山なのだとわかった。

本丸からは領内を眼下に見下ろし、遠く穂壺城、後山城、霧山城、高山寺城、黒井城の出城千丈寺砦、また、播磨への街道筋も一望できるそうです。どの山がどうなのかは、分からなかったけど、とにかく素晴らしい眺めでした。

攻め登った城主になったようで、気持ちよかった。

そのあと、ちょっと急できつかったけど、城主になったつもりで下山した。頑張れた。

昔の人は偉かったな！！と思った。

こんな上に石垣積んで、、

私はリュックも重たい、石なんて運べない、、



家来は毎日、走りながら通勤(?)してくるのかな、、、
私はゆっくりでしか登れないし、毎日は無理、機械がないのに 7m も井戸を掘るのは無理、、、
などと、思いを寄せながら下山した。

その後、薬草薬樹公園内で、丹波の湯に入り、美味しいお食事をして満足して帰った。

リーダー、参加者の皆様楽しかったですね!。ありがとうございました。

私は今回、城山に興味を持ち、いろいろな城山に行ってみたいと思いました。

リーダーから：私達の世界に誇る姫路城のように、山南町の人たちも多くの人に知っていただくためこの機会に山の整備をして迎えてくださいました。

■見野古墳群・小富士山桜巡り

●日 程：3月29日(土)

●参加者：L 森本 SL 上田 泉 岡田(郁) 喜田 坂本 西川 藤本

●行動記録：御着駅 8:45 発～上鈴公園(9:30 着)9:40 発～中鈴天満宮(9:40 着)9:50 発～
宮山古墳(10:10 着)10:40 発～阿保古墳群(11:00 着)11:10 発～坂元山古墳群
(11:20 着)11:30 発～小富士山(12:10 着)12:30 発～見野古墳群(13:10 着)13:30
発～うまいもん横丁(14:20 着)

◆「もうすぐ春の訪れ小富士」

岡田(郁)

少し肌寒い日でしたが、お天気には恵まれて山行にはちょうどいい感じの気温でした。

JR 御着駅で集合! 出発です。

予定にはなかったのですが国分寺跡に寄りました。とても大きな歴史公園で南大門、金堂、塔などの配置図もありました。

途中山陽新幹線の車両工事をする線路がありました。晩に砂利の工事をされるみたいでとても珍しいものを見ました。

上鈴公園を通り中鈴天満宮へ向かいます。桜が残念なことにまだ咲いていませんでしたが、彫り物や瓦の立派なこと。昔の人がひとつずつ丁寧に時間もお金もかけて作られたんでしょうね。職人技です!

兵庫県指定史跡宮山古墳を見て阿保古墳群へ、竹に囲まれた古墳で大きな石で組み立てられています。機械もない時代どのようにしてこんな大きな石を積まれたんでしょうか?

いざ小富士山へ登ります。標高 172m の低山で、南から見たら富士山の形に似てるのでこの名



前で呼ばれるようになったそうです。けっこう急な坂道でした。軽く昼食を取り下山していると、所々で子供達が手作りのクイズが木にぶら下げられていました。

「笹と竹の違いは？」など私にはなかなか難しかったです。

その後メインのひとつ見野古墳群では

多くの古墳が集まっていました。その中でも夫婦塚や姫路の石舞台が有名な古墳です。今にも上にある石が落ちそうで、ひびもあり近づかないように柵がされていました。古墳を堪能してうまいもん横丁で皆さんと話をして楽しかったです。

桜も所々に咲いて他の木の蕾も膨らんで、つくしもいっぱい春を満喫しました。

計画してくださったリーダー
お世話になった皆さんありがとうございました。



■的形ふるさと里山回廊 姫路市 <ゆっくりリズム>

●日 程：3月30日(日)

●参加者：A班 L徳本 SL藤原 上田 尾内 岡田(淳) 砂川(延) 高井 林 平井
B班 L澤田(律) SL安田 三木(知) 宮川 矢根 山下 山本(正) 吉村

●行動記録：的形駅 9:00 発～柳池公園(9:10 着)9:25 発～坂の上頂上(9:50 着)9:55 発～大日山(10:15 着)10:20 発～青の山頂上(10:40 着)～高坪山(11:15 着)11:40 発～福圓寺県道南口(12:00 着)～八家地藏(12:15 着)12:20 発～マリンベルト(12:25 着)12:45 発～行基の鼻(13:00 着)～磯山(13:15 着)13:20 発～的形駅(13:45 着)

◆竹林と桜花愛でる的形アルプス

高井

桜の便りも届くようになったのに、まだまだ肌寒い3月30日に、低山の連なりをたどる的形アルプスに参加しました。

9時過ぎに的形駅に集合し、住宅街を通り柳池公園から坂の山東登山口へと向かいました。まず私達を迎えてくれたのは、綺麗に整備された真竹(まだけ)の竹林でした。「まるで京都に行ってみた」と、誰かの声が聞こえてきました。

登山道をさらに登って行くと、いろんな木に名が書かれた札が掛かっていました。知っている名前もありましたが、殆どが知らない樹木でした。尾根伝いに山道を登って行くと、的形アルプスの最高峰「坂の山」の山頂(110.7m)に着きました。展望が開け、海に浮かぶ上島や明石海峡大橋、淡路島や四国まで見渡せ、眼下の大パノラマにしばしの時間酔いしれていました。

その展望を楽しみながら坂の山を出発し「大日山」(107.4m)、「青の山」(97m)へと向かって登って行きました。山道の両側には、数多いツツジの仲間のうち最も早く開花して早春を彩るミツバツツジの花が咲き始めていて、ピンクの花が目の間に現れると心も浮き立ち、春だなーと実感しました。春と言えば「桜」ですね。そこかしこで山桜が咲いていましたが、雑木が高く伸び、うーんと見上げなければならないほど高い所で咲いていました。山桜は「白い花と赤い若葉」とイメージしていましたが、花の色も白っぽいものからピンクまでバリエーショ

ン豊かに咲き誇っていました。ツツジや山桜を見つけながら雑木の中を進むのですが、階段道は木の根が網目状に覆っているので躓かないよう注意しながら歩きました。

青の山を降りたら国道を渡って「高坪山」(105.9m)に登り、山頂で三角点(明治24年の設置)を確認しました。

高坪山を下山するとまた竹林に入って行きましたが、そこも綺麗に整備された素晴らしい竹藪で感動しました。

そして、海辺の方に進んでいると、灯籠地山の岩場をロッククライミングしている人が見えて、皆でワイワイ言いながら歩いていると八家地蔵に着きました。中を覗くと高さが約210cmもある石の地蔵様が祀られていて、その大きさに驚きました。

海に向かって鎮座された地蔵菩薩像を後にし、マリーンベルトを通過して、今日最後の目的地「磯山」向かうのですが、行基が鼻に登ってまた驚きの光景が。何と目の前に広がる浜辺は的形の海水浴場。「孫達と潮干狩りに来た所だ。」と、びっくりすると共に(こう言う地形になっているんや)と確認しました。

磯山の山頂には、珍しい桜の木が植えてあり満開でした。先に目を引いたのが、薄いピンク色の小っちゃい花びらが何とも可愛い桜。名前が付いていたので見ると「エドヒガンザクラ」でした。反対側に咲いていたのが「ケイオウザクラ」濃いピンクの可憐な花を咲かせていて、どちらも寒い冬から春へ向かう季節の節目にふさわしい名称ですね。

珍しい桜を楽しんだあと、急斜面の畑を抜けて下山しました。

山に竹林に、海に桜。アップダウンは少なめでしたが頂上からのパノラマが素晴らしく、思っていたよりかなり盛り沢山なルートで、景色の変化を楽しめました。よく整備された里山を、のんびり気持ちよく周遊することができました。

素晴らしい企画をしてくださった徳本リーダーはじめ、ご一緒させていただいた皆様ありがとうございました。これからはよろしくお願い致します。



■藤原岳1140m 福寿草を愛でる

●日 程：3月31日(月)

●参加者：L 中村 SL 春本 一瀬 臼井 笹木 松田

●行動記録：大貝戸登山口 9:45 発～聖宝寺道分岐(11:25 着)11:35 発～藤原山荘(12:30 着)13:00 発～藤原岳山頂(13:20 着)13:45 発～藤原山荘(14:05 着)14:15 発～聖宝寺道分岐(15:00 着)15:10 発～大貝戸登山口(16:30 着)

◆花の名山 藤原岳～頂上で泣いちゃいました。

一瀬

お天気 登山日和

朝、電車に乗り遅れないように前日にザック OK!

当日の朝、予定通りに起きたはずなのに最寄り駅まで超ダッシュで走った。。。ふ～なんとか乗れた。

皆そろって春本さんの運転するレンタカーで出発。道を選んでスムーズに到着した。

早くも駐車場は満車状態です。車を見るといろんなところから来ているのでとても人気のある山であることがうかがえる。

大貝戸（おおがいと）登山口からのルートは比較的歩きやすい道が続く 6 合目辺りから広葉樹から杉林にかわり次にゴロゴロ石があらわれはじめた。

この辺りから小さな花が咲いている。ねこめ。。。?? 黄色い“福寿草”、ありました。

山の上の花ってこんなにカワイイんですね。“可憐”という表現がぴったり。

ようやく藤原山荘に到着し昼食休憩です。ザックを置いて展望丘頂上へ向う。辺りは残雪があり空はすっきり晴れて、まあ一見事な 360 度のパノラマです。伊吹山、伊勢湾、岐阜。。。

よく絵巻に出てくる雲の上から下を見下ろす仙人ってこんな感じかなーと感心していましたら

このタイミングで私の誕生日の前日を祝ってくれるという!!びっくりです。3 月はいろいろ思いがあり重なり涙がこみ上げてきて泣いてしまいました。本当に思い出に残る山行になりました。

下りはボチボチのペースで無事下山です。おつかれさまでした。



福寿草



セツブンソウ

今日も山、ありがとーそんな一日でした。

また山で力をもらいました。

4 月 1 日から新年度スタート!

皆様、楽しい山行ありがとうございました。



■福崎妖怪ベンチめぐりと辻川山公園散策

●日 程：4 月 1 日 (火)

●参加者：L 上田 SL 矢根 阿部 尾内 高井 田中(重)

●行動記録：福崎駅 9:55 発—市川通過 10:45—もちむぎのやかた (11:30 着) (辻川山公園散策・昼食) 13:25 発—辻川観光交流センター (13:35 着) 13:45 発—福崎駅 (14:45 着)

◆妖怪と福崎町に恋して来ました!!

阿部

福崎町にガジロウが出来て間も無いときに見学に行きました。その時の印象は何て気持ちの悪い物かしらと思っていました。その後色々な妖怪が増え、妖怪日本一にガジロウになった新聞記事も読みました。今回は山行があったので、どんな妖怪が見られるのか楽しみにして参加しました。

駅前には、水中ガジロウとアマビエが(とても可愛い半人半魚、コロナ禍に病気を静める為)設置してあり目を惹かれました。

歩き始めて1番目は雪女。何と艶かしい雪の結晶柄の着物。ちょっと怖いのですがとても色っぽくて会員の1人の方は恋に落ちてしまいました(笑)2番は天狗。現代的にパソコンで工作中。3番は猫また。こちらの着物は赤で帯が肉球模様で可愛らしい。4番はソフトクリームを落として泣きじゃくる、子啼爺。

市川の中にも「駒が岩」と言う大きな岩があり、神馬のひづめ伝説や泳いでいると河童にお尻を、抜かれると言う伝説もありました。辻川町内に入り、旧郵便局、三木家住宅、松岡映丘(国木田の父)の武者絵を見たりゆっくり散策。咲き始めた桜や満開のミモザ、雪柳他、大きな屋敷の庭には春の花々が咲き誇っていて、春爛漫でした。

「もちむぎのやかた」に着くと玄関先のベンチには、5番座敷童子が寝ていました。ランチを頂きましたが小天井に小餅麦麺他あり、追加100円で餅麦ソフトクリームも食しました。おいしかったです。

さあ、いよいよ本日のメインイベント、6番ガジロウとご対面。子供連れやカップル、外人さんも来ていて、ガジロウが出て来ると、ワーッと歓声があがっていました。怖い物見たさで私も見てました。妖怪コンテストの優秀賞の作品も何体もあり、迫力がありました。7番逆さ鴉天狗もチョー人気者になっていました。

柳田國男の生家は、昔のままの日本の原風景でした。その後3人はあずまやで待ちました。3人が辻川山へ登り、学問成就の道を歩いて賢くなって下りてきました(?)

その後8番油すましと、9番海坊主。観光協会の前で10番、将棋をしているカップと、



11番食わず女房の妖怪を見ました。食わず女房はとても魅力的で、表の表情からは想像出来ない程、背後は牙をむきだし、口を大きく開けた妖怪でした。

駅のほうに向かう途中で12番、砂かけ婆が座ってあぐらをかいていました。尖った口からは空気が出て、本当に砂が出ているように作ってありました。その次は13番すねこすり。犬のような海の動物のようなよくわからないものでした。駅前に到着して、とても楽しかったですねーと皆んなで話して解散しました。

私は、福崎町に恋して来ました。又行ってみたいです。

L、SL はじめご一緒して頂いた皆様、楽しい時間をありがとうございました!!



■雪彦山

●日 程：4月2日(水)

●参加者：A班 L島谷 SL徳本 岡田(淳) 黒本 松本
B班 L安田 SL中村 臼井 團野

●行動記録：登山口 8:20 発～大天井岳 11:05 発～雪彦山(11:50 着)12:10 発～鉾立山 12:50 発～ジャンクションピーク 13:00 発～虹ヶ滝 14:35 発～下山口(15:30 着)

◆厳しくも楽しかった春の雪彦山

岡田(淳)



雪彦山は、日本百景、兵庫 50 山などに選ばれている名山だ。新潟県の弥彦山、福岡・大分両県に跨る英彦山とともに日本三彦山の一つで、かつては修験道の地だったらしい。登山当日、家を出る前から降り出した雨も、駐車場につく頃には上がり一安心。

登り始めから急登だ。不動岩と名付けられた大岩を過ぎると、垂直な鎖場を降り狭い道を横切る。少しずつガスが出始めた。展望岩(440m)から見えるはずの地蔵岳も真っ白で全く見えない。少し平坦な場所に行

者堂跡の立て札があり、この山が修験道の地であったことが分かる。巨大な出雲岩には岩登りの金具がいっぱい付いていて驚いた。

10mほどの2段の鎖場は、1段ずつ前の人が登り切るのを待って慎重に登っていく。三点確保で足場を探しながらの登りはスリル満点で、緊張しつつも楽しかった。また、見晴らし台のある巻き道とセリ岩との分岐では、眺望ゼロだからと全員がセリ岩にチャレンジ、ワイワイ言いながら無事に通過し、みんなスリムだと証明できた！ 岩の窪みのロープと垂直な岩の太い鎖が並ぶ急な登りは各自で選択。私は鎖に挑戦したが、手足だけでなくお尻！も使って登る。また、馬の背手前の狭すぎる登りでは後足が挟まり動けず、前足でジャンプして通過、笑いが起こったが後の人の参考になったかも…。大天井岳まで急登が続くが、鎖やロープを使ってグングン登るので意外に疲れを感じなかった。しかし、私はやってしまった。眼前に迫る岩の下、右か左かリーダーが進路を確認中、何気なく岩を大きく見上げてしまい後ろに倒れそうに！とっさに横の木を掴み事なきを得たが、すぐ後ろにいたKさんによるとスローモーションのようだったそう。みなさんをドキッとさせてしまい反省している。大事に至らず本当に良かった。

ようやく大天井岳(811m)到着。ガスがすぐそばまで迫り、視線の少し先の木々までかすんでいる。班ごとに記念写真を撮って出発。ここからは、ゆったりと歩きやすい道だ。視界が悪いので班と班とが離れないよう進む。雪彦山三角点峰(915m)は小さなピークだ。さらに緩やかな登りを約1時間歩くと、この日の最高点鉾立山(960m)に到着。相変わらず何も見えない。ここで昼食タイム。

少し先のジャンクションピーク(942m)は、登山道の交差するピークということらしい。ここか



ら下りに入る。急に林道に出るも、すぐに樹林帯へ。伐採され緑の苔で覆われた木々が左右の斜面に横たわり、さながらもののけ姫の世界だ。小さな流れの水音が聞こえてくると、沢を何度も渡りながらの激下りに入る。鎖やロープが次々に現れ緊張する。流れが少しずつ広くなり慎重に沢を渡る。次々に現れる滝が次第に大きくなり眺めが素晴らしい。水を被った岩で尻餅をつくも殆ど濡れずラッキー！虹ヶ滝を過ぎ最後の渡渉・急登の後、振り返れば、地藏岳が今日初めて圧倒的な姿を見せた。さすがロッククライミングのメッカ、迫力満点の岩壁に感動する。そして、群生するミツマタの満開の花に迎えられ無事下山することができた。

今回、雪彦山の個性的な魅力を体感でき心に残る山行となった。リーダーを始め一緒にできたメンバーに感謝感謝、そして、みなさんをドキッとさせたことに深謝深謝。

■花 見

●日 程：4月5日(土)

●参 加 者：阿部 泉 上田 内海 尾内 岡田(郁) 小田 貝塚 木村 黒本 佐々木 砂川(延)
砂川(美) 須増 荘所 高井 立花 徳本 西川 春本 平井 藤原(千) 藤原(浩)
森本 安田 矢根 三木(知)

●集合場所・時間：鹿島公園墓地上の広場・12:00

※午前中は恒例の土曜トレで高御位山での清掃登山を実施



◆晴天に恵まれて

砂川(延)

今年のお花見もお天気に恵まれて晴天の下、例年と同じ場所で行いました。

前日に須増さんが現地、広場の草刈りをして頂き、当日は例年通り荘所さんがビニール・

シートを敷き詰めてもらい、その上で車座に座り乾杯から始まり、楽しいひと時を過ごすことができました。

尾内さんから下記のコメントを頂きましたので、今年のお花見報告に代えさせていただきます。

◆花見

尾内

皆様、こんにちは

今日の花見お疲れさまでした。

森本さんはじめとして事務局の皆様、花見の準備ありがとうございました。また小田様会計報告もありがとうございました。

泉様、贅沢な牡蠣の煮つけの差し入れありがとうございました。とてもおいしかったです。大満足です。

加古川高砂姫路地区の皆様とは例会が別々でお会いする機会が少なくなり、こうして花見でお話することができてとても楽しかったです。ありがとうございました。

花見の写真と土曜トレの写真を数枚送付させていただきます。ご笑納くださいませ。

これからもよろしくお願いします。



■金山(丹波市)

●日 程：4月7日(月)

●参 加 者：L 藤本 SL 春本 一瀬 岡田(淳) 喜田 木村 黒本 笹木
敷田 平石 松田 森下 安田 山本(清)

●行動記録：鐘ヶ坂公園 9:50 発～鬼の架け橋(11:05 着)11:30 発～金山(11:35 着)12:00 発～
追入(12:40 着)12:55 発～明治のトンネル東(13:00 着)13:05 発～鐘ヶ坂峠(13:35
着)～鐘ヶ坂公園(14:10 着)

◆金山(きんざん)鬼の架け橋へ

森下

桜の季節でお天気も良く絶好の山行日和です。鐘ヶ坂公園に14名が集合、ほぼ満開の桜が出迎えてくれます。今日の本命は奇岩・鬼の架け橋・同一の鐘ヶ坂峠に

明治・1883年完成 全長 268m

昭和・1967年完成 全長 455m

平成・2005年完成 全長 1012m

3つが建設されたという珍しいトンネル。

リーダーの挨拶の後ストレッチいざ出発です。ゆるやかな坂を登ると明治トンネル 600mの標識がありうれしくなります。入り口は解りません広い場所に出て昭和の鐘ヶ坂トンネル 455mの大きな看板が上部にかかっています。大きなフェンスで囲われていて立ち入り禁止、つきあたりに丸い大きな穴、出口の光が見えます。桜の頃は通れるかもとの事でしたが残念でした。次は金山標高 537m・鬼の架け橋へ。足元に小さな白い花かたばみが咲いている。途中鬼が道の真ん中に置いたという大きな岩が落ちていた。奇岩・巨岩の鬼の架け橋が目飛び込んできた。周辺の岩場は断崖絶壁で空の青と調和して壮大な美しさです。全員が大きな岩の上に登り

写真撮影。振り返るとこの岩が左右の大きな岩の上にチョンと乗っている感じでした。近くにはヒカゲツツジの群生地もあり数輪が咲いていましたが少し早かったようです。山頂は明智光秀が築城した金山城址でゆっくりとお弁当を食べました。よく枝打ちされた杉、桧木の間を無事に下山できました。リーダー始め皆様ありがとうございました。

